

三輪昭彦会長の叙勲を祝う!

●春日部地区浦高会・賀詞交歓会にて・・・!

昨1日午後4時半から、宮代町の寿々家(姫宮駅徒歩3分)にて「春日部地区浦高会・平成27年賀詞交歓会」が開かれ、29名の会員が集まりました。

今回の賀詞交歓会は、昨年秋に三輪昭彦会長が「旭日雙光章(きょくじつそうこうしょう)」を受けられたことをお祝いするという趣向もありました。

最初に鳥井修一郎副会長から三輪会長にお祝いが贈られました〔写真①〕。



「皆様、2015年初めての会にたくさんお集まりいただきありがとうございました。今日は2時から5年目を迎えた麗しの杜で樹名板の取り付けや野鳥観察会を開催しましたところ、普段は10名以下なのですが、今日は16名ものご参加をいただき感謝申し上げます。さて、今日は賀詞交歓会ということで新しい年を迎えたお祝いと、もう一つ、昨年秋の叙勲で三輪会長が『旭日雙光章』を受けられ、11月には天皇陛下との謁見もあり重ねてのお祝いになりました。この後、受賞の背景や謁見の様子などをお伺いしたいと思います。その前に、私共一同からの心ばかりのお祝いを贈らせていただきます。おめでとうございます。」

続いて、三輪会長から、「埼玉県宅建協会と叙勲について」という内容の会員スピーチがありました。

* *

◆私の生い立ちと仕事

皆様、こんにちは。過分なお祝いを頂戴し、心からお礼申し上げます。このお祝いについては、4月5日に記念パーティを予定しておりますので、その時に春日部地区浦高会からの生花に充てさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

今日の会員スピーチは、幹事から宅建協会のことなどを話して欲しいとの要請があり、叙勲の背景もごさいますので、その辺りをお話させていただきます。

最初に私の生い立ちですが、昭和19年6月4日に南埼玉郡春日部町大字粕壁、現在の西武デパートの近くで生まれました。私は6代目にして、祖父は麦わら帽子などを作っており、父は昭和36年に不動産を春日部では一番初めに興した人間でした。

私は粕壁小学校を出て、浦和の岸中学校へ通い、そして浦高に入りました。部活はラグビー部でフルバックを務め、県大会ではそこそこの成績を収めていきましたが、残念ながら花園へ行くことはできませんでした。一昨年2回目の花園出場を果たしましたが、私が入る前年の人たちが花園へ初めて行った人たちでした。勉強は中の下で卒業しました。

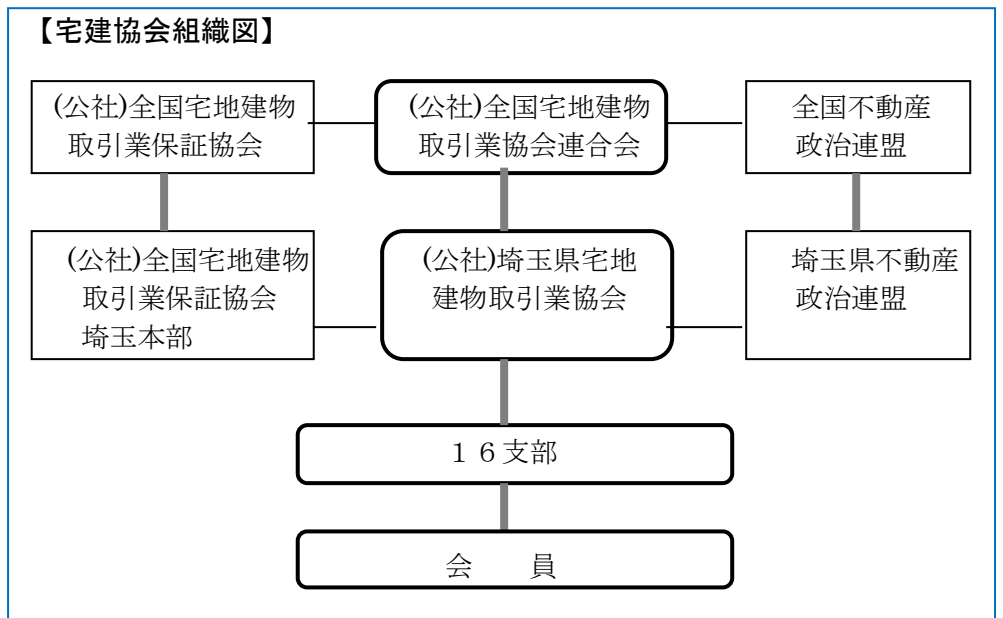
検事を目指しており、一浪して中央大学法学部に進み、卒業後は銀座にあった弁護士事務所で働きながら司法試験の勉強をしておりましたが、28歳の時に父が53歳で急死し、不動産の買い入れや借金などで当時の金で1億円を超える負債を相続することになってしまいました。相続税も3千万円を超え、土地売買の仲介手数料を巡るトラブルなど、さまざまありましたが、父の跡を継いでこの仕事を始めることになり、どうにかここまでやってこられました。



* *

◆埼玉県宅地建物取引業協会

私の所属する公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会とはどんなところなのかと言いますと、図をご参照ください。



真ん中に会員がいますが、都道府県単位でのまとまりになります。埼玉県では16の支部があり、春日部市は、宮代町、杉戸町、幸手市、久喜市、白岡市、蓮田市とさいたま市岩槻区を区域とした埼玉支部（460名）に入ります。そして、16の支部が集まって、公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会を組織します。昨年12月現在の会員数は5,345名、



そして47都道府県の協会が集まって、公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会を組織し、97,529の会員数を持つ団体になります。これは、全国の約80%の業者が加盟する最大の団体です。

不動産業というのは、業を始めるにあたって1千万円の保証金を国に供託することになっていますが、従業員を500人も持つような大企業でない限りは難しいものです。数人規模の中小企業では、1千万円は難しい。そこで、私たちの協会に加入すれば、60万円を納められて保証協会に加入することで、1千万円の保証が受けられるというシステムになっています。そのために、保証協会があります。

また、さまざまな形での政治的な繋がりあり、連合会とは別に、全国不動産政治連盟があります。医師会等に次いで年間3億円規模を使う団体です。

こうした団体があるのですが、私の立場は、埼玉県協会の会長であり、埼玉県政治連盟の会長、保証協会埼玉本部の本部長、16支部の常務です。全国では連合会の常任理事、政治連盟の幹事長、保証協会の理事を務めており、毎日が公務になっています。

私たちの仕事のことや、協会の全てについては、本日お配りしました『よくわかる「埼玉県宅建協会」のすべて』をご覧くださいれば分かります。

公務の中で一番忙しいのが、全国不動産政治連盟の幹事長という職務です。さまざまな政治家の皆さんとお話をさせていただき、法律の改正等もお願いしていきます。最近では昨年6月の国会で成立し、今年4月から実施となる「宅地建物取引主任者」を「宅地建物取引士」という『士』に変えたことです。会員の皆さんの資質向上とともに地位向上を図る意味もあり、この変更については本当に汗をかきましたが、昨年12月の総選挙でも全国を移動しました。

* *

◆叙勲について

それでは、本日お祝いをいただきました叙勲の話をしてと思います。私は、埼玉県宅地建物取引業協会の役員を25年以上にわたり務めてまいり、2010年5月から会長に就任しました。こうしたことがあって、今回の叙勲となった訳です。

秋の叙勲ですから11月3日に発表があったのですが、実際には5月頃に申請を行っていますので、叙勲について知らなかったというような話をされる方がいますが、それは嘘ですね。さまざまな審査が行われて決定されますので、申請を行われた人は交通違反なども行ってはダメなのです。

11月13日(木)に、東京プリンスホテルにて太田国土交通大臣より勲章と勲記の伝達を受けました。そして300名から350名の受賞者が20数台のバスに乗って皇居に入ります。皇居「春秋の間」、ここは正月参賀などで天皇陛下がお出ましになる廊下の内側なるのですが、受賞者とその配偶者が一堂に入ります。

やがて侍従次長が先導で天皇陛下がしずしずとお入りになり、全員で拝謁し、陛下から温かい祝意と激励のお言葉をいただき、またバスに乗って帰るのですが、その間、全くボディチェックなどはありません。帰りのバスの中で、そういった話がなされて初めて気づいたのですが、それだけ調べ上げられているということなのですね。

今回の叙勲を一つの励みとして、さらに精進しなければいけないと思っていますところ。ご静聴ありがとうございました。【要点筆記にて文責：香田】

受章者 顕彰

きょく じつ そう こう しょう
旭日雙光章

三輪 昭彦 氏
公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会 会長
(埼玉支部)

このたび、平成25年秋の叙勲に於て、旭日雙光章授章の栄に浴しましたことは、身に余る光栄であり、この上ない栄誉と感激をいたしております。

11月13日(木)、東京プリンスホテルに於て、太田昭宏国土交通大臣より勲章・勲記の伝達を受けた後、夫婦共々皇居に参内、春秋の間に於て天皇陛下に拝謁し、陛下から温かい祝意と激励のお言葉を授けられましたことは、私共にとりまして感激の極みでございました。

この受賞は公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会5,400名の会員並びに本支部事務局長の皆様のご協力があったことであり、改めて皆様方から心からの御礼を申し上げます。

これからも、この栄誉に恥じることをないよう更に精進を重ね、安心安全な不動産取引を目指し、業界全体を高め行く努力を続けて行かなければならないと思っております。

皆様方には、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

伝達式にて

【埼玉県連合会】					
至	平成29年5月25日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会	至	平成29年5月27日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会
至	平成28年4月1日	公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会	至	平成28年4月1日	公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会
至	平成28年5月25日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会	至	平成28年4月1日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会
至	平成27年5月25日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会	至	平成28年5月27日	埼玉県支部
至	平成19年5月25日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会			
至	平成25年5月27日	社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会			

Tokai News 2014.12 | 1

〔写真④：「宅建ニュース」2014.12 埼玉県宅地建物取引業協会発行より〕

* *

三輪会長、本当におめでとうございました。